

令和7年5月

財 政 状 況

東 備 消 防 組 合

目 次

1. 令和6年度下半期の予算補正及び執行状況について

第1表 令和6年度一般会計予算補正及び施行状況調（歳入）

第2表 令和6年度一般会計予算補正及び施行状況調（歳出）

2. 起債の現在高調

3. 財産の現在高調

む す び

今回の財政事情は、令和6年度下半期の予算執行状況等についてお知らせします。

1. 令和6年度下半期の予算補正及び執行状況について

令和6年度下半期の予算の施行状況は、2回の補正が行われ、予算現額11億8,543万8,000円に対し、歳入については執行11億7,875万6,332円で執行率99.4%、歳出については執行額11億3,369万8,364円で執行率95.6%となっています。

第1表 令和6年度一般会計予算補正及び施行状況調（歳入）

（令和7年3月31日現在）

（単位：千円、％）

歳 入					
款	下半期 予算額	補正予算額	予算現額	執行額(円)	執行率
1.分担金及び負担金	889,858	0	889,858	1,108,758,000	124.6
繰越分			218,900		
2.使用料及び手数料	796	0	796	556,400	69.9
3.国庫支出金	3,516	327	3,843	3,843,758	100.02
4.県支出金	179	49	228	226,000	99.12
5.繰越金	35,000	16,914	51,914	51,914,876	100.0
6.諸収入	21,326	△1,427	19,899	13,457,298	67.63
計	950,675	15,863	1,185,438	1,178,756,332	99.44

第2表 令和6年度一般会計予算補正及び施行状況調（歳出）

（令和7年3月31日現在）

款	下半期 予算額	補正予算額	繰越額	予備費充当 (円)	予算現額 (円)	執行額（円）	執行率
1.議会費	1,423	27			1,450,000	1,158,649	79.91
2.総務費	461				461,000	318,910	69.18
3.消防費	896,094	11,432		11,470,881	918,996,881	869,434,749	94.61
繰越分			218,900		218,900,000	218,900,000	100.0
4.公債費	43,887				43,887,000	43,886,056	100.0
5.予備費	8,810	4,404		△11,470,881	1,743,119	0	0
計	950,675	15,863	218,900	0	1,185,438,000	1,133,698,364	95.63

（単位：千円、％）

2. 起債の現在高調

(単位：円)

区 分	R4年度末 現 在 高	R5 年度末 現 在 高	R6 年度		R6 年度末 現 在 高
			借入額	償還額	
消防施設整備事業債	91,793,996	43,236,433	0	21,725,770	0

3. 財産の現在高調

①公有財産（土地・建物）

区 分	土地（㎡）	建物（㎡）
庁 舎	38,669.54	4,927.33

②物品（自動車・通信指令装置）

区 分	保有台数	備 考
特殊自動車	3 台	指揮車 1 台、指令車 1 台、資機材運送車 1 台
	8 台	消防ポンプ自動車（はしご車、化学車、救助工作車を含む）
	6 台	高規格救急車
普通(軽)自動車	6 台	広報連絡車(軽) 3 台、広報車 1 台、連絡車 1 台、人員搬送車 1 台
計	23 台	
通信指令装置	1 台	(消防デジタル無線含む)
計	1 台	

む す び

東備消防組合は令和 6 年 9 月初旬から約 2 か月間にわたり、マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化の実証事業を終え、令和 7 年度から全国的に実証事業を始める礎となるデータを国へ提出しました。

救急件数にあっては、令和 6 年中には 3,116 件の出動があり、2 年連続で 3 千件を超え、中でも近年増加傾向にある病院間の転院搬送に対応するため日勤救急隊 1 隊を編成し運用を開始しております。

さて、県内では令和 7 年 3 月 23 日に発生した岡山市南区山林火災に岡山県と県内市町村等との消防広域応援協定に基づき、東備消防から消防車隊等延べ 12 隊、職員 46 名を派遣し、災害対応を実施しました。現場での活動から、東備消防としても、管内で予想される大規模山林火災に対応すべく、他消防本部等への応援要請や管内における防火広報の重要性、資機材等の整備が早急な課題となりました。

業務遂行に当たっては、計画的な人員、装備の充実が望まれるところでありますが、依然として厳しい財政運営の中、当組合においても、最小の経費で最大の効果を発揮できる体制づくりとともに、適正な予算執行を心掛けてまいります。今後とも、当組合に対するご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。